

◆ 学 位	学 位 名	博士 (人間科学) 大阪大学	修士 (人間科学) 大阪大学
	取得方法	課程 平成 15 年取得	課程 平成 12 年取得
◆ 学 歴	大 学	大阪大学人間科学部人間科学科教育心理学専攻 平成 10 年卒業	
	大 学 院	大阪大学大学院人間科学研究科人間科学専攻教育人格心理学研究分野博士後期課程 平成 15 年修了	
◆ 学 内 職 務 (平成 30 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 教員養成カリキュラム委員</li> <li>▪ ピアサポート協力教員</li> </ul>		
◆ 担当授業科目 (平成 30 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 教育心理学</li> <li>▪ 発達心理学</li> <li>▪ 心理測定法概論</li> <li>▪ 幼児理解の理論と方法</li> </ul>		
◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)			
▪ 学校心理士 (第 174644 号)			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
心理学	ジェンダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 教育心理学</li> <li>▪ 臨床心理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 社会心理学</li> <li>▪ ジェンダー</li> </ul>
◆ 研究概要	被支配感に着目したデート DV 被害の実態把握、予防教育 セクシュアリティ、ジェンダー意識と将来展望		
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 日本心理学会</li> <li>▪ 日本教育心理学会</li> <li>▪ 日本発達心理学会</li> <li>▪ 日本心理臨床学会</li> </ul>		
◆ 主要著書 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 学びを人生へつなげる 家族心理学	共	平成 29 年 4 月	保育出版社
▪ アクティブラーニング で学ぶジェンダー～現 代を生きるための 12 の 実践	共	平成 28 年 3 月 10 日	ミネルヴァ書房
▪ ジェンダーの心理学ハ ンドブック	共	平成 20 年 4 月 20 日	ナカニシヤ出版
▪ シードブック 教育心 理学	共	平成 20 年 4 月 1 日	建帛社
◆ 主要論文 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 生徒指導が扱う性と暴 力～中学校・高等学校に おける課題	単	平成 29 年 9 月 25 日	教育研究実践論集
▪ 幼児の「心の理論」と他 者の働きかけによる変 化～他者の誤信念に関 する実験	単	平成 28 年 9 月 25 日	教育研究実践論集
▪ 女子学生のキャリア意 識が学習行動に及ぼす 影響	単	平成 26 年 9 月 25 日	四天王寺大学紀要

▪ デート DV 研究の問題点	単	平成 26 年 3 月 25 日	四天王寺大学紀要
▪ ジェンダーおよび学歴による将来像の違い	単	平成 24 年 9 月 25 日	四天王寺大学紀要
◆ その他（5 件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 学会発表「大学生における稼得意識の検討(1)～稼得意識と平等主義的性役割態度との関連」	共	平成 29 年 10 月 7 日	日本教育心理学会
▪ 学会ワークショップ「アクティブに学ぶジェンダー(2)」話題提供	共	平成 29 年 9 月 22 日	日本心理学会
▪ 学会発表「デート DV を予防・防止する要因の検討(2)～恋人による被支配感を考慮したデート DV 被害に葛藤解決方略が与える影響」	共	平成 29 年 9 月 21 日	日本心理学会
▪ 学会発表「性別の根拠に関する成人前期の意識」	単	平成 29 年 3 月 27 日	日本発達心理学会
▪ 学会発表「Risk factors and correlates of dating violence (6): Classifying dating violence experiences and the sense of being controlled by dating partners.」	共	平成 28 年 7 月 26 日	International Congress of Psychology